

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	排泄の自立支援 2階の利用者は排泄の自立度は高くほとんどの人が一人でトイレを使用できる。しかし、トイレでトラブル等が発生した場合には、緊急事態を知らせることができず不安がある。また、トイレはやや狭く身動きがとりにくいなど一人でトイレを使用する際に安全性が確保できているとは言い難い。	安全にトイレを使用できるよう、環境を整える	1 緊急呼び出しブザーを2階トイレにとりつける 2 ブザーの使用方法について指導する 3 傾斜版の利用の可否について調査する 4 トイレ用スリッパへの履き替えは中止する 5 トイレの使い方を話合う 6 トイレ使用にあたって気がかりなことはないか各個人の感想を聞き対応する。	1 か月
2	35	災害対策 災害への対応について現在検討中である。防火対策に関しては出来つつあるが、自然災害に関してはまだ具体的な対策はできていない。災害備蓄品、緊急持ち出し、災害時の脱出法等について理解を深め、早急に対応をたてる必要がある。	各種の自然災害への対応策について理解を深める 災害備蓄品、緊急持ち出し品を整える 職員個々が安全な避難誘導方法を身に付ける 緊急時対応について職員の意識を高める 危機管理について理解を深め体制作りを進める	1 自然災害についての学習会を企画する 2 災害備蓄に必要な物品、食品、非常持ち出し品について検討する。 3 2をもとに必要な物品を揃える 4 災害時脱出方法について調べ、必要な道具等を準備する 5 4の使い方について研修を行う 6 災害対応に関する年間計画を立て毎月実施する 7 職員の避難誘導力について適宜チェックを行う 8 災害対策についての担当者を決める 9 危機管理について、適宜、実践、講習を行う	12 か月
3	49	日常的な外出支援 施設は山間地にあり車を使わなければ市街地への外出はできず、日常的な外出には不便である。歩行できる人は車への乗降は可能であるが車椅子利用の方は困難である。現在の外出は集団での外出がほとんどであり個々の希望に沿った外出は殆どない。利用者は個々に外出したい気持ちはあるが、具体的に行き先をイメージすることができにくい。 職員による自己評価においては利用者の外出支援に関する満足度は最も低かった。また、利用者家族のアンケートにおいても外出支援についての満足度が最も低かった。	全員及び各個々人の意思に沿った外出の機会を増やす 家族の意向を把握する 利用者家族による外出への支援体制を作る	1 利用者各人の外出先につて希望を聞く 2 集団での外出、個別の外出に分けてそれぞれの計画を立てる。 3 勤務者数の多い時には外出支援者をつくる 4 公用車の使用について、使用基準、使用時の申し合わせ事項を確認する 5 公用車の運転ができる人を増やす 6 タクシー代、バス代等について調べる 7 外出について家族と意見交換をする(3月の運営推進会議時) 8 家族へ働きかけて外出を手伝ってもらう 9 外出時の費用について家族に説明する	12 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。